

第9回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：平成27年3月30日（月）14：00～14：45

場 所：広陵町役場3階大会議室

出席者：山村会長、青木委員、巽委員、東委員、山本委員（代理：稲留様）、大庭委員、大西委員（代理：内藤様）、森本委員（代理：河野様）、西本委員、川邊委員（代理：米田様）、吾妻委員、吉崎委員、島田委員（代理：鋤田様）、古田委員、奥谷委員

欠席者：村上委員

1 開会進行（事務局）

2 会長あいさつ

みなさんこんにちは。春も本格的になりました。第9回広陵町地域公共交通活性化協議会に出席を賜りましてありがとうございます。

広陵町生活交通ネットワーク計画について、パブリックコメントを求めましたところ、意見は1件だけでした。公共交通は地域の基盤として大事なものですが、パブリックコメントを実施しての反響が少ない。なかなか住民の方からご意見をいただけないことについて、反省していく必要があります。

それでは、ご審議賜りますよう、お願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

3 議題

(1) 広陵町生活交通ネットワーク計画（案）パブリックコメントの実施結果について

【事務局説明】

資料1の説明

【質疑応答】

○会長

ご意見、ご質問ありませんでしょうか。

○委員

赤部から新家までの1区間で運賃が60円アップする。どうして1区間で60円もあがるのか。距離によってバス料金が違うように、高田駅まで元気号に乗るのに、場所によって料金が違って良いのではないか。

○委員

距離によって運賃が高くなるシステムになっている。概ね1キロごとに運賃の

変わる停留所を設けるのが国土交通省の指導になっている。新家に行くと料金が上がる区間になっている。申し訳ないが、現状のままでお願いしたい。

○事務局

料金については、新家から 310 円。赤部から 260 円。50 円違っている。平成 27 年度の運行計画の検討の中で、料金についても検討をお願いしたい。利用しやすい、運賃を収受しやすいことも踏まえて、次年度に検討をお願いしたい。

○委員

コミバスが 100 円で、当社の料金が高いということだが、大淀町のコミバスは無償になっており、このようなところが他にもある。安くいけるのは、車両も小さいし、地域によって格差があるのは、他市町でもある。情報として言わせていただく。

○委員

なぜコミバスが安いのかということだが、人件費の影響が大きい。退職された方などで人件費を抑えている。ずっと続けられるかということと難しいと思う。運転手の不足が全国的に問題になっている。将来ずっと続けられないと思われる。

○会長

パブリックコメントの回答案については、承認いただくということによろしいでしょうか。承認させていただきます。

(2) 広陵町生活交通ネットワーク計画について

【事務局説明】

資料 2 の説明

【質疑応答】

○会長

P45 は以前の計画に追加させていただくという説明です。追加だけですので、承認させていただいてよろしいでしょうか。承認いただいたということで進めさせていただきます。

(3) 平成 27 年度広陵町地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算（案）について

【事務局説明】

資料 3 の説明

【質疑応答】

○会長

ご質問、ご意見ございませんでしょうか。承認とさせていただきます。

(4) スケジュール案

【事務局説明】

資料4の説明

【質疑応答】

○会長

何かお気づきの点がありましたら、ご意見をお願いしたい。

○委員

補正は12月議会でしたね。運行事業者選定が大事ですね。選定のやり方は、どういう方法で予定しているのか。

○事務局

プロポーザルで運行事業者を選定できればと思っている。単に金額だけでの入札もあるが、今のところプロポーザルがいいのではと思っている。そのあたりは、検討していきたい。

○会長

平成28年4月から運行をはじめさせいただく予定です。また、ご協力をお願いしたい。

○委員

車両デザインとあるが、広告を募集することは考えているのか。

○事務局

広告についても検討していきたい。時刻表は全世帯に配布することを考えているが、広告収入で作成できないかということをお事業者さんに話を聞いている。

○事務局

委員さんからの質問ですが、協議会で手法を議論いただいて、進めていきたい。

○会長

承認していただいてよろしいでしょうか。それでは、承認していただいたということで、他にありませんか。

4 その他

【質疑応答】

○委員

県でも連携していきたいという話があったが、県レベルで公共交通を考えていただけなのか。

○会長

県では、知事をトップにして会議をしている。奈良県の全市町村を対象にしている。市町村連携して運行する場合は、県、国も支援していただけるとのこと。市町村をまたいで、まとめていただいた。奈良交通さんに任せる部分と市町村でやっていく部分があるとのことだったが、どうですか。

○委員

2つの市町村が協力する場合は、新しい補助があるとの話があった。我々は補

助をいただいて、できる範囲で運行を維持していきたい。

○会長

高田市、檀原市も財政支援することになったので、運行継続となった。次のスケジュールについて、事務局に説明を御願いたい。

○事務局

今回は5月頃に実施計画の提案と予算の決算報告をさせていただく。

○会長

これをもって会議を閉じさせていただきます。今後も安定的な運営について、ご指導ご助言をお願いします。